

令和4年度

第1回進路説明会資料



渋谷区立鉢山中学校

氏名

令和4年7月7日（木）

1. 進路選択にあたって

(1) 「進路」をどう考えるか

「進路」＝「どの学校を受験するか」だけではありません。本来「進路」とは、「自分の人生をどのように切り拓くか」ということです。したがって、将来就きたい職業や自分の「生き方」をふまえて、自ら進路先を選択していきましょう。

①個性・適性・興味・関心を考えて

自分の能力や個性を大きく伸ばしていける進路先を選びましょう。就職であれば、職種や職場の雰囲気など、進学では校風や環境・教育方針などよく考えましょう。安易な気持ちで選択することがないように、注意深く決めていきましょう。

②希望する職業との関係

進学の目的は、将来の職業（自分が生きがいを感じる仕事や、社会に貢献できる仕事）に向けて、考え方や知識・技能を身に付けることです。就職する際に必要な資格や知識・技能を得るための学校や学科を選ぶようにしましょう。

③自分の能力に合ったところで考える

進学の際には、自分の学力がどの程度か知り、その学力をさらに伸ばせる学校・学科を選ぶようにしましょう。「合格できる学校ならどこでもよい」という考えでは、成長はありません。目標の学校に向けて、最大限に努力する姿勢が、学力を伸ばします。

(2) よりよい進路選択のために

進路選択は、最終的には自分自身で進路を切り拓いていくこととなります。しかし、そのためには、家庭と学校が共に手を携えていくことが大切です。

☆家庭にお願いしたいこと☆

①家庭で十分な話し合いを

本人が納得しなければ良い結果は生まれません。将来のことまで視野に入れご家庭でじっくり話し合ってください。また、本人はもちろん保護者の方も志望する学校の説明会等に参加して、十分に納得されてから決定してください。

②最終的な進路選択は本人の思いを十分取り入れて

進路選択の主役は、生徒本人です。自分が選んだことへの自覚と責任がもてるように、本人にしっかりと考えさせ、決断させてください。そして、自分の進路に誇りと愛着をもてるようにしてください。

③生活リズムを整えさせてください

「受験生だから」といって特別扱いする必要ありません。十分な睡眠をとり、三食きちんと食べてバランスよく栄養を摂取し、朝型の生活リズムを確立させてください。入学試験の多くは朝から行われます。また心が不安定になる時期でもあります。気分転換も大事です。より多くの励ましの声かけなどで支えてください。

☆学校として☆

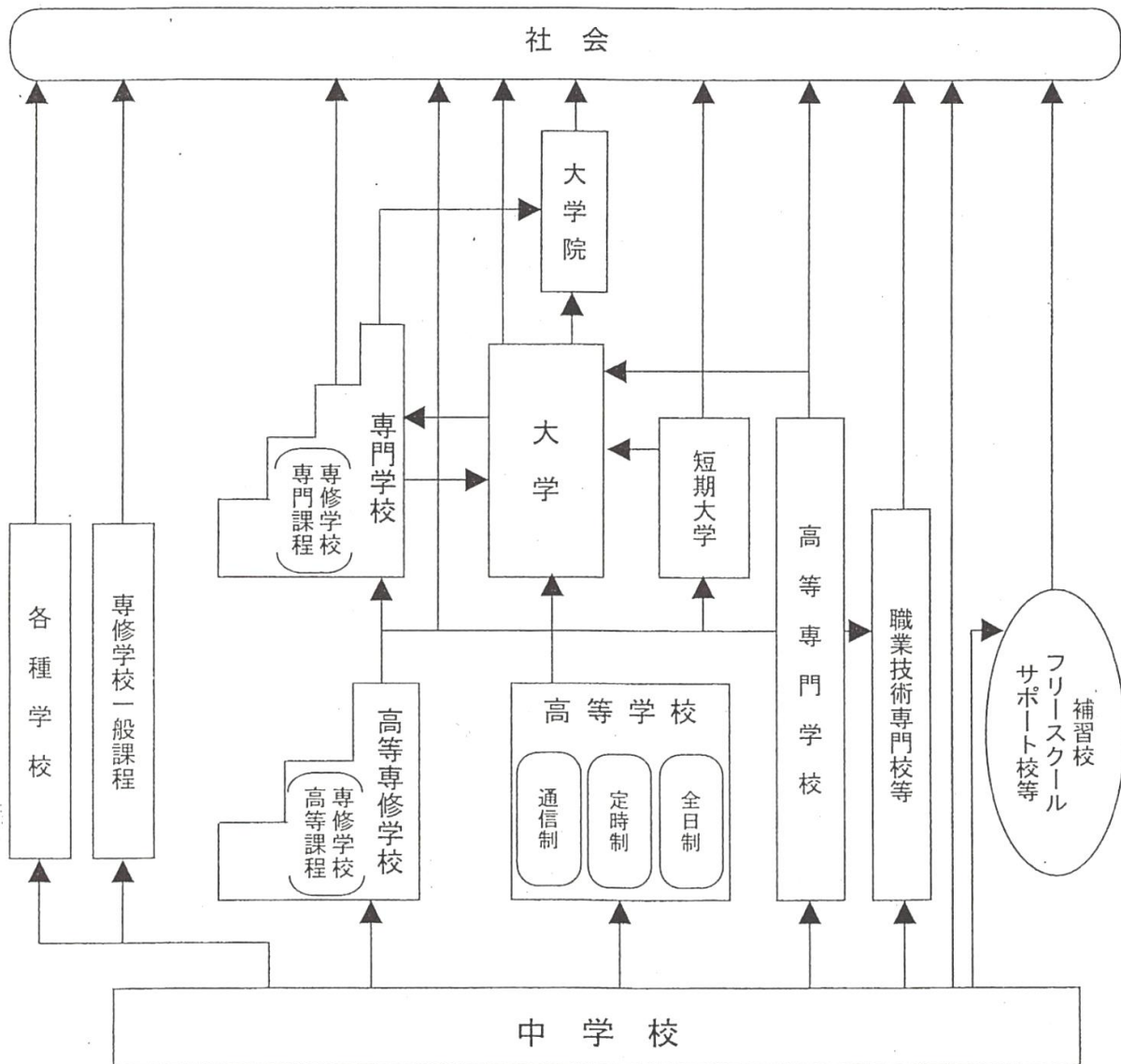
①進路相談は学年を中心に、学校全体で行います

直接の相談窓口は担任ですが、進路指導は学年教員だけではなく、学校全体の協力体制のもとに進められます。

②正確かつ最新の情報をもとに進路相談を行います

3年生になると、進路に関する様々な情報が入ってきます。すべての情報が正確なものであればよいのですが、中にはまったく根拠のない噂にすぎないものや誤った情報もあるようです。また、「昨年度はこうだった」から今年も同じであるとは限りません。本校では多くの最新情報を随時収集し、これらの資料や情報をもとに進路指導を行います。

(3) どのような進路先があるか【中学卒業後】



2. 中学校卒業後の進路

(1) 高等学校

中学校卒業後、高度な普通教育や専門教育を行う学校です。

課程による分類

全日制課程	平日の昼間に授業を行う。3年制。
定時制課程	夜間4年制。午前、午後、夜間と3部制の昼夜間の高校もある。科目の履修方法により、3年間で卒業できる定時制もある。
通信制課程	自宅で学習し、レポートなどの添削指導を受けながら、定められた日に登校し、指導を受ける。通信制高校と連携したサポート校もある。

学年制と単位制による分類

学年制	学習する教科、科目が学年ごとに決められていて、学習成果が認められると単位が取得できる。
単位制	3年間（4年間）で学年の区別なく自分に適した教科、科目を選択し、学習成果が認められると単位が取得できる。決められた単位を修得すれば卒業できる。

学科による分類

普通科	中学校の9教科に相当する科目を中心に学習する。上級学校進学、就職など幅広い進路に対応。
専門学科	専門的技術知識を得る。商業、工業、農業、家庭、芸術、体育など。
総合学科	普通教科、専門教科などから希望に応じて授業を選択できる。

(2) 高等専門学校

職業に必要な能力をより深く学びます。修業年限は5年です。卒業後は就職以外に大学への編入の道もあります。

(都立産業技術高等専門学校、国立東京工業高等専門学校など)

(3) 専修学校（高等専修学校）

中学校卒業者を対象とした高等課程を高等専修学校と言います。さまざまな専門分野で、社会に出てすぐ役立つ技術を身に付けることを目的としています。大学入学資格が付与されることもあります。

(4) 職業訓練校

職業に必要な技能を身に付けます。企業内学校と公立の訓練校があります。公共職業訓練校としては、都立職業能力開発センターがあります。中学校卒業生対象コースは少ないです。

(5) 就職

学校ではハローワーク渋谷と連絡を取りながら就職の紹介を行います。家業、縁故での就職も学校にお知らせいただき、学校で勤務条件等の確認をします。職業の種類だけではなく、労働条件、自己の能力と適性、将来の見通し、働きながら学ぶことを希望するか、など多くのことを考えて就職先を決定しましょう。

日程

- 10月…求人一覧表が学校に届く。
- 12月…志望先を決め、応募書類を記入。
- 1月…就職統一選考

3. 高等学校入試

(1) 高等学校の選び方

どこを重要視するのか、保護者とよく話し合しましょう。

- ① 興味のあることを学べるか。
- ② 高校卒業後の進路が自分の希望と結びつくか。
- ③ 自分の良いところ、得意なことを伸ばせるか。
- ④ 参加したい部活動があるか。
- ⑤ 通学に適した場所にあるか。
- ⑥ 校風が自分に合っているか。

(2) 国公立高校と私立高校の違い（令和4年度の数字です）

相違点	国立	都立	私立
特徴	国立大学付属の研究・実験校	地方公共団体が設置	学校法人が設置、宗教教育も可
受験料	9,800円	2,200円	1~3万円
入学金	56,400円	5,650円	平均 251,637円
授業料	115,200円	118,800円	平均 466,708円
推薦入試	実施せず	調査書点+集団討論+面接等	内申点+面接等
一般入試	学力検査+面接	調査書点+学力検査	学力検査+面接

① 奨学金制度

奨学金には、給付型、貸付型の2種類があります。学校にきている奨学金のご案内については、学級通信等で、随時お知らせいたします。ご家庭でご検討いただき、必要な場合には、担任までお申し出ください。

② 私立高等学校等授業料軽減助成金事業

都内在住で、私立高等学校等に通う生徒の保護者の方の経済的負担を軽減するために、授業料の一部を助成する制度です。詳しくは、公益財団法人「東京都私学財団」のホームページ等をご確認ください。

(3) 都立高校入試制度(令和5年度入学選抜の日程)

生徒一人一人の能力や特性、興味・関心、進路希望等に応じて学ぶことができるよう多様なタイプの学校が開設されています。「本校の期待する生徒の姿」を各高校で明文化していますので、高校選択の判断材料としましょう。

① 推薦入試

ア 一般推薦

中学校長の推薦を受けた生徒が出願できます。

評定による出願基準はありません。

選抜方法

- ・ 観点別学習状況の評価(A・B・C)または評定(5・4・3・2・1)のどちらかを高校が選び点数化して、調査書点とする。
- ・ 面接、作文、小論文、実技検査などが課される。
- ・ 自己PRカードは点数化しないが、総合判断で使用される。

イ 文化スポーツ等特別推薦

実施する高校は限られており、実施する種目も各高校が定めています。種目ごとに推薦基準があります。文化スポーツ等特別推薦に出願した生徒は同時に同じ高校の一般推薦にも出願できます。

日程

入学願書受付日	令和5年1月12日(木)~1月18日(水)
実施日	令和5年1月26日(木)・27日(金)
合格発表日	令和5年2月2日(木)

②一般入試(第一次募集・分割前期募集 / 分割後期募集・第二次募集)

一部の高校を除き調査書点+5科の学力検査(分割後期募集・第二次募集は3科)+ESAT-J点の総合得点で選考されます。実技検査、面接などを加える学校もあります。

一次募集・分割前期日程

入学願書受付日	令和5年2月 1日(水)～2月7日(火)
実施日	令和5年2月21日(火)
合格発表日	令和5年3月 1日(水)

分割後期・二次募集日程

入学願書受付日	令和5年3月 6日(月)
実施日	令和5年3月 9日(木)
合格発表日	令和5年3月15日(水)

定時制二次募集日程

入学願書受付日	令和5年3月22日(水)
実施日	令和5年3月27日(月)
合格発表日	令和5年3月28日(火)

(4) 私立高校入試制度

私立高校は、それぞれ建学の精神を持ち、独自性の高い教育を行っています。教育方針が明確で、生活指導も厳しい学校がほとんどです。宗教団体が設置した学校や、中高大一貫教育を行う学校、男女別の学校、などがあります。収入により就学援助金が支給されますが、都立高校に比べて納入金が高額となります。

個別相談・入試相談とは

・個別相談

高校の受験担当の先生と、受験コースや入学後にかかる費用、部活動や高校生活について、合格の可能性など、さまざまなアドバイスを個別に受け、相談にのってもらうシステム。

・入試相談

受験を希望する生徒について、その学校の基準に達しているか、どのような中学校生活を送ってきた生徒なのか確認し、その上で、私立高校から在籍する中学校の先生に「合格の可能性」が伝えられる場です。(12月15日～)

入試相談前に本人対象の個別相談を受け、中学校に報告することが必要です。また、入試相談後は受験先を変えることはできません。

① 推薦入試（単願推薦などの名称）

受験する学校が第一志望であり、合格したら必ず入学することを前提として出願します。

選抜方法

- ・ 適性検査（学力試験）
- ・ 面接
- ・ 作文 など

②一般入試

ア、併願優遇

主に公立高校との併願者を対象に、志望校不合格の場合、その私立高校に入学することを条件に優遇措置が取られます。併願優遇にも高校が定めた基準があります。推薦入試と同じく入試相談があり、その前に本人対象の個別相談を受けることが必要です。

イ、一般入試

推薦、併願優遇などの制度を利用しないで受験する場合などは一般入試で受験します。

私立高校の入試制度は、学校によって多種多様化しています。募集要項を確認しましょう。また学校説明会などで高校の先生と直接会って話しましょう。制度の説明のほか、受験のアドバイスなどももらえます。推薦、併願優遇の制度を利用する場合は、**個別相談が必要です**。

（５）調査書

調査書は、都立高校では全ての都立高校で共通の様式を使います。私立高校は独自の形式内容のものが多く、特に重要視されるのは各教科の評価評定です。受験で使う評定を「内申」と呼ぶこともあります。都立の調査書は、第3学年4月から12月までの学習状況を評価した評定となります。私立の調査書は、第3学年4月から12月までの学習状況を評価した評定と、第1学年・第2学年の通知表の学年成績を記載する学校もあります。

(6) 調査書点及び学力検査点の算出方法

都立推薦・・・9科の評定合計を点数化したものに、当日の点数（面接など）とあわせて選考します。

都立一般・・・**学力検査の得点と調査書点に ESAT-J 点を加算し、総合得点を 1020 点満点とします。**学力検査の得点と調査書点の比率は、第一次募集・分割前期募集は 7 : 3、分割後期募集・第二次募集は 6 : 4 となります。

総合得点 (1020 点) = 学力検査の得点 (700 点) + 調査書点 (300 点) + ESAT-J 点 (20 点)

学力検査を実施する教科の評定は 1 倍、学力検査を実施しない教科の評定は 2 倍して合計した数値のことを換算内申と言います。

学力検査の教科	1 倍	2 倍	満点
国・数・英・社・理	国・数・英・社・理	音・美・保体・技家	65 点
国・数・英	国・数・英	社・理・音・美・保体・技家	75 点

注) 評定の満点はオール 5 である場合。

① 学力検査を 5 教科、比率を「7 : 3」で実施する学校の場合

調査書点 (300 点満点) + 学力検査得点 (700 点満点) = 1000 点満点

調査書点 : $\frac{\text{換算内申} \times 300}{65}$ (小数点以下切り捨て)

学力検査得点 : $\frac{\text{当日の得点} \times 700}{500}$ (小数点以下切り捨て)

② 学力検査を 3 教科、比率を「6 : 4」で実施する学校の場合


調査書点 (400 点満点) + 学力検査得点 (600 点満点) = 1000 点満点

調査書点 : $\frac{\text{換算内申} \times 400}{75}$ (小数点以下切り捨て)

学力検査得点 : $\frac{\text{当日の得点} \times 600}{300}$ (小数点以下切り捨て)

③ ESAT-J 点

中学校英語スピーキングテスト (ESAT-J) の結果を A~F の 6 段階で表し、20 点満点で換算する。

A		20 点
B		16 点
C		12 点
D		8 点
E		4 点
F		0 点

(7) 高校訪問等

高校を知るには、関心のある高校に出かけることが一番大切です。学校説明会や、見学会などの案内を進路資料室内に掲示します。また、高校のホームページには最新の情報が載っていますので、随時確認して下さい。

学校説明会・個別相談会の予約・申し込みは、原則として個人で行っていただきますが、中学校申込みの場合は、学校で一括して申し込むので、お知らせください。

参加するときの注意

- ・鉢山中学校の標準服で参加します。(高校が指定した服装がある場合はそれに従う。)
- ・公共の交通機関を使います。自転車で行ってはいけません。
- ・見学会、説明会では高校側もみなさんを見ています。第1回の面接に行くつもりで参加しましょう。言葉遣い、服装、行動などに注意を払いましょう。
- ・見学会、説明会には、保護者と一緒に参加しましょう。
- ・私立高校の個別相談の際は、2年生の通知表、最新の模擬試験の結果を持って行きましょう。
- ・直前になったら、ホームページで時程等詳細を確認しておきましょう。
- ・参加申し込みをした場合、欠席・遅刻する時は必ず高校に事前に連絡を入れてください。
- ・登校日の土曜に学校見学会等に参加した場合は、原則中学校を欠席したことになってしまいます。その日しか実施しない内容で、そこに参加しなければ推薦などに影響がある等の場合は相談してください。中学校で判断します。

～ 基本的な持ち物 ～

筆記用具、生徒証、交通費、時計、ハンカチ、ティッシュ、マスク

参考 電話で申し込む場合の例

まずは筆記用具を用意して・・・

- ① 「渋谷区立鉢山中学校3年の〇〇と申します。体験入学(見学会、説明会)の参加申し込みをしたいので、ご担当の方をお願いします。」
- ② 「〇月△日の・体験入学を希望している
 - ・ 学校説明会(部活動体験、個別相談会・・・)に参加させていただきたい
 - ・ 文化祭(体育祭)を見学させていただきたいのですがお願いできますでしょうか。」
- ③ 「はい、ではよろしくをお願いします。持ち物や、注意はありますか。」
(メモを取る)
- ④ 「ありがとうございました。よろしくをお願いします。では失礼します。」

先方が電話を切ったことを確認してから、通話を終了しましょう。

4. 第1回進路希望調査

7月8日（金）から始まる個別面談において、第1回進路希望調査を回収いたします。各学校のホームページ等を参考にしながら、卒業後の進路について、ご家庭で話し合ってお記入ください。

また、到達度テストの結果を配布いたしましたので、現在の学力を測る目安にしていただければと思います。

令和4年7月6日
渋谷区立鉢山中学校
第3学年

第1回進路希望調査

3年A組 番 氏名 _____
保護者氏名 _____

盛夏の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、7月の個別面談において、進路についてお話しさせていただきます。卒業後の進路についてご家庭でよく話し合ってください、**個別面談当日にご持参ください。**

(注) ・校種等は該当するものに○をつけてください。都立高校で推薦、一般両方の受験を考えている場合は同じ高校でも両方書いてください。
・科・コースは、該当するものがあれば記入してください。
(例：普通科・デザイン科・外国語コースなど)
・受験形態は、現在考えている受験形態に○をつけてください。(併願は、私立高校のみ該当する)

順位	校種等	学校名	科・コース等	希望する受験形態	見学
1	都立・国立・私立 専修学校・就職他			推薦・併願優遇 一般・他()	済・未
2	都立・国立・私立 専修学校・就職他			推薦・併願優遇 一般・他()	済・未
3	都立・国立・私立 専修学校・就職他			推薦・併願優遇 一般・他()	済・未
4	都立・国立・私立 専修学校・就職他			推薦・併願優遇 一般・他()	済・未
5	都立・国立・私立 専修学校・就職他			推薦・併願優遇 一般・他()	済・未
6	都立・国立・私立 専修学校・就職他			推薦・併願優遇 一般・他()	済・未

※ 6校全て記入する必要はありません。現在希望されている分だけご記入をお願いします。
☆ 個別面談で、ご相談されたいことがありましたらお書きください。

ボールペン等の消えないインクでご記入ください。

第1志望の学校は、必ずご記入ください。

無理に6校書く必要はありません。現在、考えている学校のみだけご記入ください。

進路に関わることで、疑問に思っていることや相談したいことをお書きください。個別面談当日にお話しさせていただきます。